

# サルぞくち たゃがわ けんしていてんねんきねんぶつ サイト 3 生息地 田谷川 県指定天然記念物

か ぞく さかな せなか ほん ふくぶ つい せいぎょ たいちょう イトヨはトゲウオ科イトヨ属の 魚 で、背中に 3 本、腹部に 1 対のトゲがあります。成魚の体 長は 4 から でいど はる さんらんき みずくさ す つく よ とくい きゅうあいこうどう 5 cm程度で、オスは春の産卵期になると水草などで巣を作り、ジグザグダンスと呼ばれる特異な求愛行動をすることが知られています。

大田原市のイトヨは、湧水を中心に夏でも水温が20度以上にならない所に生息しています。

たゃがり ゆきみず つづ おがり たゃがり いちじせいそくすう すく
田谷川は湧水から続く小川です。田谷川のイトヨは、一時生息数が少なくなりましたが、生活雑排水の
りゅうにゅう ふせ かんきょう かいぜん せいそくすう かいふく
流入を防ぐなどして環境が改善したことで、生息数も回復しています。

## でいてくち くにしていてんねんきねんぶつ くにしていてんねんきねんぶつ **②滝岡ミヤコタナゴ生息地** ミヤコタナゴ:国指定天然記念物

かんとうちほう わきみず まわ すいでんすいろ ひろ ぶんぶ げんざい やせい かつてミヤコタナゴは、関東地方の湧水やその周りの水田水路などに広く分布していましたが、現在、野生せいそく かくにん とちぎけん ちばけん いちぶ へいせい ねん ぜつめつ の生息が確認できるのは、栃木県と千葉県の一部のみとされています。平成6年(1994)には、「絶滅のおそやせいどうぶつ しゅ ほぞん かん ほうりつ しゅ ほぞんほう こくないきしょうやせいどうしょくぶつしゅ してい れのある野生動物の種の保存に関する法律(種の保存法)」による国内希少野生動植物種に指定されました。

# たきざわじんじゃ ほんでん しゅうけいぶんかざい けんちくぶつ 多滝沢神社 本殿:市有形文化財(建築物)

はしら しゅようぶざい けやき ほんでんとだい すぎざい かいだん ひりゅう りょうがり ほんでん しゅうい 柱 やその他主要部材はすべて 欅 で、本殿土台は杉材、階段上り口上部に飛龍、その両側、本殿の周囲には こ からじし ょすみ ちょうびりゅうとうぶ ほたん ちょうこく ほどこ ちょうこく きんこう 1 2 個の唐獅子、本殿四隅に長鼻竜頭部 8 個、その間は牡丹の彫刻が施されています。これらの彫刻は近郊 ちょうこくし さく おも しゅほう ゆうしゅう げんろく ねん がっ にち しる むなぶだ の彫刻師の作と思われ、その手法はきわめて優秀です。元禄12年(1699)10月28日と記された棟札があり、とうじ たてもの かんが 当時の建物と考えられます。

## 4アカガシ群生地 市指定天然記念物



#### まちはじめひ ししていしせき **5**町初碑 市指定史跡

しぜんせき ひょうめん これまちはじめ この碑は楕円の長い自然石で、その表面に「此町初 かんえいよん うどし くにいよざえもん しる 寛永四ひのへ卯年」、裏面には「國井与左衛門」と刻されて います。

ぱしょ おおたわらじゅく この碑がある場所は、大田原宿まで4キロメートル弱の おうしゅうどうちゅうぞ とうじ やぎさわむら おうしゅうどうちゅう 奥州道中沿いで、当時は八木沢村といいました。奥州道中 けいちょうねんかん せいび おこな は慶長年間(1596年~1615年)から整備が行われ、それに ともな かんえいねんかん かいどうすじ やぎさわむら ひら 伴い寛永年間(1624年~44年)に街道筋に八木沢村も開かれ おも きねん けんぴ おも たものと思われ、それを記念しての建碑と思われます。



#### ほろのひ ししていしせき 市指定史跡

なすの いったい へいし かたな 文化9年(1812年)10月、那須野に一隊の兵士が刀をかつ やり た こうしん しんきろう あらわ ぎ槍をうち立て行進する蜃気楼が 現 れました。たまたまここ とお こうしゅう たかつよしかつ あんぎゃそう もくげき こうけい を通った甲州の高津義克という行脚僧が目撃し、その光景を か のこ さ いし きざ こんりゅう 書き残して去りました。それを石に刻んで建立したのがこの 碑です。

## やぎさわじんやあと

### 7八木沢陣屋跡

代官の住居、役所等がありました。

やぎさわむら もともと なすし りょうち 八木沢村は元々は那須氏の領地でしたが、那須氏の領地が ふくわら からすやま うつ と ち えどばくふ ちょくせつおさ 福原から烏山に移され、この土地は、江戸幕府が直接治める ちょっかつち やぎさわじんやあと 「直轄地」となりました。この八木沢陣屋跡には、かつては だいかん じゅうきょ やくしょとう

# 佐久山

せいしょうじ ががく けんしていむけいみんぞくぶんかざい

### ❸正浄寺の雅楽 県指定無形民俗文化財

せいしょうじ ががく てら しょう ひちりき 正浄寺の雅楽は、寺に伝わる 笙・篳篥などを使って演奏す きょうどげいのう もんとゆうし でんしょう る郷土芸能で、正浄寺の門徒有志が伝 承してきたものです。

していむけいぶんかざい

栃木県及び大田原市の指定無形文化財となっています。



#### むらかみえいしゅんおうせいたんのちひ

#### 夕村上英俊翁生誕之地碑

むらかみえいしゅん さくやましゅっしん がくしゃ えどじだい お 村上英俊 は、佐久山出身の学者で江戸時代の終わりから めいじじだい はじ かつやく がくしゃ ご はじ 明治時代の始まりにかけて活躍した学者で、フランス語を初 にほん しょうかい ひと めて日本に紹介した人です。

こ てびきしょ さんごびんらん ごほうつうご つく フランス語の手引書「三語便覧」や「五方通語」を作りま ご にほん ひろ した。また、フランス語を日本に広めるほかに、たくさんの で し そだ にほん こうりゅう ふか 弟子を育てるなど日本とフランスの交流を深めました。

だいにちどう ふどうみょうおうぞう ししていゆうけいみんぞくぶんかざい ちょうこく ⑩大日堂 不動明王像:市指定有形民俗文化財(彫刻)

だいにちどう ふどうみょうおうぞう におう かたち きぼり ふどうぞう 大日堂の不動明王像は仁王の 形 をとった木彫の不動像で かずら けいしき えどじだい さく 珍しい形式のものです。江戸時代の作とみられます。

おおたわらし していゆうけいぶんかざい 大田原市の指定有形文化財となっています。

#### じっそういんさんもん ししていゆうけいみんぞくぶんかざい けんぞうぶつ **①**実相院山門 市指定有形民俗文化財(建造物)

ふくわらけ だいだい はか 実相院は、福原家代々のお墓があるお寺です。山門は ふくわらおさかべずけます つま はや な こども くょう 福原刑部資倍の妻が、早くに亡くなってしまった子供の供養 のため、建てたものであると伝えられています。

さんもん おおたわらし していゆうけいぶんかざい 山門は、大田原市の指定有形文化財となっています。

#### ぶんどうしゅんかいおうけんしょうひ

## 2 豊道春海翁顕彰碑

ぶんどうしゅんかい さくやま しゅっしん めいじ しょうわ 豊道春海は、佐久山の出身で、明治から昭和にかけて かつやく しょか おおたわらめいよしみん だいごう 活躍した書家で、大田原名誉市民の第1号でもあります。

### \_\_\_\_\_ さくやまじょうあと ししていしせき **退**佐久山城跡 市指定史跡

# なすすけたか じなんやすたか さくやま

文治3年(1187年)、那須資隆の次男泰隆が佐久山の地に城 きず さくやまし なの きょじゅう えいろく ねん を築き、佐久山氏を名乗り居住しました。のちの永禄6年 はいじょう さくやまし ほろぼ (1563年) に佐久山氏は滅ぼされ、廃城となりました。

しろあと げんざいごてんやまこうえん よ かえで めいしょ 城跡は現在御殿山公園と呼ばれ、 楓 の名所として知られて います。



#### はちまんぐう ほんでん ししていゆうけいぶんかざい けんちくぶつ 4八幡宮 本殿:市指定有形文化財(建築物)

じょうきょう ねん 建てられた時期は定かではありませんが、 貞 亨 2年 (1685 ねん しゃでん しゅうふく かんせい ねん ねん たてもの しゅうぜん 年)に社殿を修復し、寛政2年(1790年)に建物を修繕さ げんざい いた しゃでん やね なすけ かもん れ、現在に至っています。社殿の屋根には那須家の家紋がつ けられています。



#### げんしょうじ なすしぼひ ししていしせき 15玄性寺 那須氏墓碑:市指定史跡

げんしょうじ なすけ えん ふか なすのよいちむねたか 玄性寺は那須家と縁が深く、那須与一宗隆をはじめとする なすいちぞく くよう とう た 那須一族を供養する塔が建てられています。

#### かんばさん 16汗馬山

#### うま あせ はげ じょうばくんれん おこな 那須与一が、馬に汗するほど激しい乗馬訓練を 行ったとい ばしょ さんちょう あたごじんじゃ けいだい われる場所です。山頂には愛宕神社があり、境内には「 なすのむねたかこうのひ 那須宗隆公之碑」があります。

#### ふくわらじょうあと

#### ⑰福原城跡

鎌倉時代初期に城が築かれ、その後約300年に渡り那須氏の 居城として使われました。